

企業・サイト概要

- 提案企業: 有限会社沖縄小堀電機
- 提案企業所在地: 沖縄県浦添市
- サイト: ソロモン諸島ホニアラ市
- 相手国実施機関: ソロモン諸島資源エネルギー地方電化省、ソロモン諸島電力公社
- 事業実施期間: 2013年10月～2015年3月



●●● ソロモン諸島国の開発課題 ●●● ← 合致 → ●●● 提案企業の技術・製品 ●●●

➢ 再生可能エネルギー導入促進

太陽光発電に適した自然条件を有しているが、現在は発電のほぼ100%が輸入燃料を使用したディーゼル発電となっている。

➢ 割高な電気料金の是正

輸入燃料による発電のため電気料金が非常に割高である。(2012年時点: ソロモン諸島 約67円/kWh, 日本 約22円/kWh)

➢ 脆弱なエネルギー供給構造の是正

輸入燃料の価格高騰の影響を受けやすい。

➢ 市販の小型パワーコンディショナー(PCS)を多数台組み合わせた連携型太陽光発電システム。

⇒受注生産による大型PCS不要。

⇒PCSメーカーに依存しない、持続的な運用・維持管理。

⇒メンテナンスの迅速化・コスト削減。

➢ ソロモン諸島と環境等が共通する沖縄の知見を活かした強風・塩害対策。

提案企業の準備状況

- 平成24年 ソロモン諸島の関係者への聞き取り調査を実施。
- ソロモン諸島資源エネルギー・地方電化省およびソロモン諸島電力公社から事業への前向きな回答を得て、継続的な連絡をとり関係を維持。

民間提案型普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- 現地の電力需要および電力供給設備(送配電線、変圧設備等)に合わせた、数十kWhクラスの小型PCSを用いた連携型太陽光発電システムの導入。
- 関係者への連携型太陽光発電システムの基礎知識・維持管理に関する研修の実施とマニュアル作成。
- 関係省庁を招いたセミナーを開催し、本事業で得られた成果・データを基に提案技術の有効性を紹介。

ビジネス展開

- 本事業において連携するソロモン諸島電力公社が立てている連携型太陽光発電の導入の概略計画への参画を試み、ソロモン諸島での事業展開の可能性を追求。
- 同様の地理的条件である大洋州諸国の中で、電気料金が割高な国々への展開。